

2026年2月10日

各 位

会 社 名 G M O メ デ イ ア 株 式 会 社  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 森 輝 幸  
(コード番号 6180 東証グロース)  
問い合わせ先 常 務 取 締 役 石 橋 正 剛  
T E L 03-5456-2626

## 配当方針の変更 (DOE導入) に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、配当方針の変更 (DOE導入) について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 配当方針の変更 (DOE導入)

#### (1) 変更の内容及び理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最優先課題の一つと位置づけ、これまで親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向 65%以上を基本方針として、業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施してまいりました。

今般、資本効率をより一層意識するとともに、利益水準の変動に左右されにくい安定的な株主還元を実現するため、従来の配当性向 65%以上という指標に加え、新たに DOE(連結株主資本配当率) 5%を下限指標として導入することといたしました。

本方針により、株主資本水準を踏まえた配当を行うことで、利益成長の成果を適切に分配するとともに、事業環境の変化に左右されにくい持続的な株主還元を目指してまいります。

変更前	変更後
<p>当社は、急速に変化する事業環境の中で、企業体質の強化と持続的な成長に向けた戦略的な投資を推進するため、適切な内部留保の確保を重要視しております。同時に、株主の皆様への利益還元も最優先課題の一つと位置づけております。</p> <p>こうした方針のもと、当社は 配当性向 65%以上を基本とし、業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施することで、長期的な株式価値の向上を図ります。</p>	<p>当社は、急速に変化する事業環境の中において、企業体質の強化と持続的な成長を実現するための戦略的な投資を推進するとともに、適切な内部留保の確保を重要な経営課題と位置づけております。同時に、株主の皆様への利益還元についても最優先課題の一つと認識し、安定的かつ継続的な株主還元の実現に取り組んでおります。</p> <p>こうした方針のもと、配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向 65%以上を基本とするとともに、資本効率を意識した経営と安定的な還元の両立を図る観点か</p>

ら、DOE（連結株主資本配当率）5%のいずれか高い金額を基準とする下限指標を設定しております。

当社は、これらの指標に基づき、業績および財務状況を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当を実施し、中長期的な企業価値および株式価値の向上を目指してまいります。

## (2) 変更時期

2026年12月期より適用いたします。

(ご参考)2026年12月期の配当予想につきましては、本日付け「2025年12月期 決算短信」において開示しております。詳細はそちらをご参照ください。

以上